

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 4 月 27 日

### 【事業所概要【事業所記入】】

事業所番号	33491500249		
法人名	社会福祉法人 まり福社会		
事業所名	まりホーム内海		
所在地	広島県福山市内海町イ2678番地		
	電話番号	084-986-2255	
自己評価作成日	令和 2 年 12 月 10 日	評価結果市町村受理日	令和 3 年 5 月 6 日

※事業所の基本情報は、介護サービス公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.hirishima-fykushi.net/kohyo/index.html">http://www.hirishima-fykushi.net/kohyo/index.html</a>
----------	---

### 【外部評価機関概要【評価機関記入】】

評価機関名	一般社団法人 みらい
所在地	広島県福山市山手町1020番地3
訪問調査日	令和 3 年 4 月 15 日

### 【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

<p>四季折々に表情を変える瀬戸内海を毎日眺めて生活しています。地域とのふれ合いを大切にし、馴染みの関係を築きながら穏やかな生活環境を提供しています。食事は、管理栄養士の下、栄養管理された物を、その方に合った食事形態で食べて頂いています。理学療法士や歯科衛生士による専門分野との連携で安全で安心出来るケアの充実を図っています。認知症に関する事やその他の勉強会を繰り返し実施する事で、サービスの質向上に繋がる様、スキルアップしています。入居者の皆様が安心して穏やかに暮らせる明るい家庭的なホームです。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>内海大橋を渡るとすぐの場所にあり、穏やかな海と緑豊かな自然を眺めながら、馴染みの場所で自分らしく、ゆったりと生活できるという恵まれた環境である。利用者も島内の方が多く、地域との交流もできていて、声かけ等も気軽に頂き、地域の一員としての理解も構築され、利用者も安心して過ごす事ができている。ケア面に於いては、笑顔は言葉を越えたおもてなしという接遇標語を掲げ、笑顔を絶やさず、一人ひとりに寄り添い個々を尊重し、思いやりを持ったケアを心掛けている。思い出づくりや楽しみごとの支援もコロナ感染予防の為、外出や家族の訪問も出来ない中、少しでも楽しく過ごしてもらうために室内行事を多く持つよう取り組まれ楽しみの支援に繋げている。医療面に於いては、月2回の協力医療機関の訪問診療、訪問看護師が毎週、理学療法士、栄養士、歯科衛生士等の専門分野の方々も定期的に来られ、あらゆる面での健康管理をされており、いち早く状態変化にも気付き、その都度適切な医療が受けられ安心である。また、運営推進会議も以前の様な形ではできないが、2ヶ月に1回は現状や取り組み等についての資料を作成し、各委員さんを訪問し報告され、意見や情報等を得、サービスに活かされている。地域との交流も構築され、気軽に相談に来られる事もあり、地域の一員としてお互いに協力し合い安全に過ごせる環境作りに取り組まれていると共に定期的に幅広い分野で研修を行い、個々のスキルアップに努め、介護技術向上に繋がられている。今では家族との信頼関係も築かれ、地域、家族、三者で利用者を支えられ、温かく家庭的な雰囲気のある事業所である。</p>
--

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月のミーティング時に理念や方針を掲げて唱和し、職員一人一人が日々のケアが理念に沿って行われる様、又行われているか確認し意識を持ち取り組んでいる。	企業理念や年間目標を誰もが見え易い場所に掲示され振り返る機会としている。また、理念を基本とした個々の年間目標も掲げ、日々達成に向け取り組まれていると共に理念を常に認識し、全職員が共有し実践に向け日々取り組まれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運動会や文化祭、とんど等の地域行事へ入居者様と一緒に参加している。ホームの夏祭りや行事へも、地域の方々に来て下さったり、演奏ボランティアの方々も定期的にホームに定期的に来て下さり、入居者の方々も楽しみにされている。(コロナ感染対策により今年は中止した)	令和2年度はコロナ禍の為、地域行事も中止となり以前には交流はできていないが、情報や声かけ等はして頂いている。散歩時は声かけしながら顔見知りの関係が途切れない様務めている。また、地域の方が介護面での相談にも気軽に来られる事もあり、以前と同様に地域の一員として交流は図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの運営推進会議にて、地域包括支援センター、社会福祉協議会、警察、公民館、地域の方、民生委員、郵便局長、地域の方、又、専門職の方々との意見のやり取りや情報交換をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事や日々の生活状況、又、取り組み等報告している。意見等頂き、理解や協力を得て参考にしサービスの質の向上に活かしている。	以前の様な形では会議はできないが、現状や取り組み等については、2ヶ月に1回、それぞれの委員の方を訪問し、広範囲に現状を報告し、意見やアドバイスを得、サービスに活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	保険福祉担当者の方、地域包括支援センター主催の会議に参加し意見交換して、その内容を自施設でも活かせる様伝達し、共有している。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会や委員会、ミーティング等で話し合い、又、伝達講習の時間を作り共有の認識で取り組めるよう知識を深めている。身体拘束防止に取り組んでいる。	基本身体拘束はしない方針である。玄関の施錠を含め身体拘束はしていない。不穏な方には声かけと散歩等で気分を変えてもらう等、また、見守りを徹底し、抑圧しない支援を心がけている。全職員が正しく理解する様朝礼やミーティング等で話し合いや勉強会を行い拘束しない支援に取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会に参加したり、朝礼やミーティング時にも話し合い虐待防止に取り組んでいる。グループホーム会議時に事例を持ち寄り検討会にて虐待防止に務めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全職員が、共通の認識が持てる様、個々に必要な制度の関係を情報交換し、密接な連携をとっている。活用については必要に応じ支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者やご家族にわかりやすく説明し不安や疑問点は、納得されるまで説明している。その上で合意された上で手続きを行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や要望に関しては、十分なコミュニケーションを図り遠慮なく言って頂けるよう関係性を築いている。又、意見箱も設置している。今年はコロナ禍により開催されてはいたないが、日々話し合いがもてるように努めている。	コロナ禍の為、家族の訪問は中止となっているがその都度電話や毎月の請求書の送付の際、生活状況を書き添えた手紙を同封し、現状を理解をしてもらっている。家族との信頼関係も築かれ、要望があれば気軽に言われる。色んな場面での意見等は運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回のミーティングにて、意見交流を行っている。又、毎朝の申し送りでも身近な問題などを話し合い向上に繋げている。	朝礼やミーティング等でケアに関する提案や意見等、また、問題点等について話し合う機会を持ち、多くの意見の把握に努め、運営に反映させている。個人面談の機会もある。何でも言える関係ができています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々に年間行事をあげて自己評価を行い一定の時期に上司がヒヤリング等を行っている。その評価を職員にフィードバックし、職員が課題に向き合って新たな目標を持って働けるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に年間目標を上げ自己評価を行い、一定の時期に上司がヒヤリング等を行っている。その評価を職員にフィードバックし、課題に向き合って新たな目標をもっていけるよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他グループホーム等の交流をもとに向上に取り組んでいる。地域の関係者宅にも出向く事があり、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	状況に応じ、ご本人様やご家族と一緒に話しやすい環境を作り、和やかに支援策について話し合いを行う。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の方が困っている事や不安などがあれば説明し、ホーム見学の機会を作り理解と安心してもらえるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様とご家族から事情を伺い、ホームでのケアサービスについての説明や、その他のサービスについても分かり易く説明し、支援をさせて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様が出来る事を一緒に行っている。役割を持つ事で共に過ごし、支えあえる関係を保っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、入居者様との時間を充分にもち、近況報告や相談など伝え、ご家族にも協力してもらい、職員やご家族が一体となった関係を築くようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時、入居者様との関係を尋ね、面会や電話が出来る様な声掛けをし、関係が途切れないような支援をしている。	地域からの情報で昔馴染のふくろうの花畑の芝桜や水仙の里等のお花を見に行かれている。また、電話の取り次ぎ等も柔軟にすると共にコロナ感染予防の為、家族、友人の訪問時には窓越しで対面してもらう等の工夫をし、出来るだけ今までの関係が途切れない支援を心がけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士が孤立をしない様に工夫し、レクリエーション等でコミュニケーションが図れる様な環境を整えている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退後もご家族と今までの関係を大切にし、介護の相談等あれば気軽に相談に応じている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様と話しながら、レクリエーションや買い物へ出かけたり、職員同士で情報交換し、希望に添える様努めている。	何気ない日々の会話や個別対応時等で、把握する事がある。散歩やドライブ等の希望が出る。それぞれの思いに対しては可能な限り想いに沿うように取り組まれている。表出困難な方には、声かけから、その時の表情で汲み取り、検討しながら、対応している。家族の協力を得る事もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の過ごし方や生活環境や交友関係、生活歴等ご本人様やご家族とコミュニケーションをとりながら伺い、ケアサービスに活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人様の心情などを申し送りやミーティングで話し合い、出来る限りの支援を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族の希望を聞き、その方に対してどの様な支援が必要か、医師、看護師専門職に相談し介護計画を作成している。	家族、本人の要望、日々の業務日誌などから課題やニーズについて職員の意見と共に主治医、看護師、理学療法士、栄養士等専門職の方の意見を基に担当者会議を実施し、柔軟且つ現状に即した計画を作成している。モニタリングは毎月、見直しは個々の状況とそれぞれの期間により見直ししている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌や経過記録や身体状態の記録に加え、申し送りノート等の記録を職員間で情報共有に役立て、見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	他部署と連携をとり、情報交換を行い受診など支援している。管理栄養士、歯科衛生士等に協力してもらいサービスの提供をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署や警察をはじめ、地域の公民館や学校の方の協力を得て、地域行事へ参加し豊かな暮らしが出来る様努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関や訪問看護ステーションとの連携をとりつつ、ご本人やご家族の希望を汲み取った医療を受けられる様に支援している。	協力医療機関の往診が月2回、訪問看護師が週1回、歯科衛生士も毎月訪問されている。その他、理学療法士や栄養士等が適宜、来られ色々な面で健康状態を管理され安心である。夜間や緊急時等、24時間体制も構築されている。結果等についても適宜家族に報告している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者に変化が見られた時は、24時間体制の訪問看護ステーションと連携し、適切な受診や看護が受けられる様に支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	随時電話連絡や面会を行い、情報交換に努めている。医師、看護師、ソーシャルワーカーと連携し、退院に向けて、あるいは退院後に向けての相談を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時や重症化した場合に重ねて話し合いを行う事によって方針を共有し、医師や看護師も交えて支援に取り組んでいる。	利用開始時、指針を基に説明し、理解は得られているが状態変化が起きた場合は、家族、主治医、看護師等で話し合いを重ねると共にその都度、家族の意向を確認しながら、方針を共有し、希望に沿った支援に取り組まれている。体験もされ、家族の協力も得られた。医療機関との連携も構築されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	随時職員間で勉強会を行い、急変や事故発生時の対応について確認している。定期的にAED講習も行き、迅速に実践ができるように訓練を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署と地域初期支援者の協力で年2回消防訓練を実施し、入居者が確実に避難できる様に努める。火災の際の消火器を用いた訓練を行っている。	年2回、消火、避難誘導等の自主訓練を実施し、慌てず、速やかに対応できる様取り組まれている。実施後は反省会も持ち、次回に繋げている。多種多様な災害時の基本的な事についても取り決め、地域との協力体制にも努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重、プライバシーを忘れず声掛けや支援を行っている。支援の際の態度や言葉遣いも、相手の気持ちに寄り添った対応を行っている。	排泄、入浴、居室訪問時の対応や声かけ等、プライバシーに気をつける様、ミーティングや朝の申し送り等で周知している。又、お互いに気づいた時には注意し合い、人生の先輩であり、目上の方という事を念頭に置き、尊厳を大切にされた支援に努めている。馴れ合いになっても節度ある対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定が出来る様な声掛けや問いかけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの入居者が何を思われているのか、どうしたいのかを伺い、ご本人様の気持ちを大切に支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や乱れが見られる場合には整容を行い、ご本人様の好みの服装を取り入れるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や下膳、簡単な調理や食事を取り分ける手伝い等は一緒に行っている。献立も食事前にお知らせしている。	刻み、下口ミ食等、個々の身体状況に合わせた食事形態となっている。栄養士による献立で個々に合わせカロリー計算され、栄養バランスのとれた食事となっている。力量により、出来る事はしてもらい、張りのある生活に繋げている。職員も同じテーブルを囲み同じ物を食され、食を促す声かけや世間話をしながら、楽しみの時間となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は無理なく摂取して頂き、水分量に関しては個別に対応している。それぞれの入居者のペースに添い、押し付けることなく支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科衛生士の指導に則りケアに活かしている。毎食後口腔ケアをして頂き、仕上げや支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様1人1人の排泄パターンや習慣をしっかり把握し声掛け等して、自立に向けた排泄ケアを行っている。	個々の時間帯で声かけし、日中はトイレでの排泄に努め、機能維持、生活習慣を活かした支援に取り組まれ布パンツに変更してもらう事で、以前の排泄習慣が取りもどせるケアを職員間で協力し合い、取り組まれている。自立の方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝出来そうな時は皆さんに声を掛けラジオ体操に参加して頂いている。天気のよい日には日光浴を行い、水分補給やビフィズス菌摂取等の対応を小まめに行っている。時に腹部にホットパックをして排便を促すためのマッサージも行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2～3回のペースで入浴して頂いている。希望があれば、入りたい時に入浴して頂き、喜んで頂いている。入浴前後にはバイタル測定を行い健康管理している。その日の体調や入居者様の要望を伺いながら入浴して頂き、清潔保持している。足浴や手浴のケアも随時行っている。	週2～3回、午後の時間帯となっている。入浴が楽しみとなる様、個々の希望に沿った対応で、湯温、順番、また皮膚の弱い方にはタオルの工夫等をされ、健康面にも気をつけながら清潔保持に努めている。拒否の場合はタイミングや声かけの工夫をし入浴してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後居室にて休んで頂いたり、車椅子の方は他の椅子に座り替えたりして下肢状態が出来るだけ良い状態に保てる様にケアしている。温度湿度管理に気をつけ、安心して気持ちよく良眠する事が出来る環境作りをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や薬剤師から効作用、副作用について詳しく確認した上で職員同士で情報の共有を図っている。服薬準備も複数人数でチェックを行い、確実な服用が出来るようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様の好まれる事や趣味等、出来る事は声掛けし、取り組んで頂いている。一緒に行い気分転換が得られる様に取り組んでいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節ごとの行事や地域の行事等、積極的に参加している。地域の方やご家族の方にも協力して頂きながら行っている。買物やドライブを企画して定期的に行っている。	コロナ感染予防の為外出機会は少ないが、散歩やドライブなどはしている。近くにお花畑があり、そこに出かける等、少しでも時々の季節を感じてもらおうと共に五感刺激、楽しみ毎の支援に繋げている。又、外出支援の代わりに室内の行事を多く計画し、楽しんでもらっている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理は、預かり金をご家族から預かっており、ご本人様から要望があったり、日用品が必要になった場合に、ご家族の了解を得て使用している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の希望がある際など、ご家族様へ連絡を取り、ご本人様と電話をして頂いている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月、花の回を実施し、その時期に合った花を取り入れ、季節を感じて頂ける機会を設けている。また、玄関前にも花を飾り、目で見て季節を感じて頂けるよう配慮している。	玄関前には季節のお花が置かれている。共有の場には置スペースもあり。ウッドデッキからは馴染みの海が見え安らぎを感じる事ができる。。また、壁には利用者が作成されたちぎり絵や習字等が飾られている。室内も清潔に保たれ、毎月生け花の日があり、そのお花が飾れている。死角もなく不快な匂いもなく、室温にも配慮され、快適に過ごせる共有空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内にソファを設置し、テレビを見ながら入居者様同士で、会話を楽しんで頂いたり、くつろいで頂ける空間を作っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様それぞれが使い慣れた家具、テレビ、棚を設置し、写真や絵を飾っており、馴染みある物を身近に感じながら、安心して過ごせる様に配慮している。	ソファセットやテレビ、三段ボックス、家族等との思い出の写真等が持ち込まれ、自宅での生活に近い環境づくりをされ、違和感なく過せるよう工夫されている。又、時の認識のカレンダーや時計も置かれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や浴室、トイレに手摺りを設置しており安全に入居者様が歩行できるように配慮している。手洗い場も車椅子に座ったまま洗面や手洗いが行えるよう安全面に配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目【アウトカム項目】

項目		取り組みの成果(該当するものに○印)		項目		取り組みの成果(該当するものに○印)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼすべての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼすべての家族と
			②利用者の2/3くらい				②家族の2/3くらい
			③利用者の1/3くらい				③家族の1/3くらい
			④ほとんど掴んでいない				④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に一度程度ある				②数日に1回
			③たまにある			○	③たまに
			④ほとんどない				④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼすべての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②利用者の2/3くらいが				②少しづつ増えている
			③利用者の1/3くらいが				③あまり増えていない
			④ほとんどない				④全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き活きた表情や姿が見られている		①ほぼすべての利用者が	66	職員は生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②利用者の2/3くらいが			○	②職員の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが				③職員の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
60	利用者は戸外の行きたい所へでかけている		①ほぼすべての利用者が	67	職員から見て利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが			○	②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが				③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼすべての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②利用者の2/3くらいが				②家族等の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが				③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼすべての利用者が				
			②利用者の2/3くらいが				
			③利用者の1/3くらいが				
			④ほとんどない				

(別紙4(2))

事業所名: まりホーム内海

## 目標達成計画

作成日: 令和 3 年 4 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	57	入居者の方々と職員と一緒にゆったりと過ごす機会をもう少し増やしたいと考えている。	毎週 曜日を決めてリラックスタイムを皆でとる。	金曜日には、おいしいお茶とお菓子を入居者さんと職員と一緒に感染対策をした上でゆったり過ごす。(金曜日を楽しみに出来るようになる。)	1～2ヶ月後
2					
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。